

東日本大震災の今を知る。災害に強いまちをつくる。

撮影者 皆川 知子



石巻市立大川小学校



南相馬市原町区萱浜 津波が襲った場所に笑顔を取り戻すため作られた菜の花迷路



いわき市久之浜、2015年3月11日 14時46分



女川湾の夕景



南相馬市原町区萱浜 津波で流された家の跡に設けられた献花台



南相馬市原町区萱浜 被災者や近所の方に向けたイルミネーション

川崎市自主防災組織連絡協議会・川崎市 共催



平成27年度

# 川崎市防災シンポジウム

日時 1月18日 (月) 午後2時 ~ 4時15分

会場 エポックなかはら大ホール (入場無料)

講演 草 貴子 (東日本大震災災害伝承語り部) 皆川 知子 (音楽家、災害ボランティア)

お問い合わせ先: 川崎市総務局危機管理室 (啓発・予防) 電話044(200)2893 担当: 早川・田邊

# 平成27年度 川崎市防災シンポジウム 開催概要

イベントに関するお問い合わせは下記まで  
川崎市総務局危機管理室（啓発・予防担当）  
電話 044 (200) 2893 担当：早川・田邊

## シンポジウムの目的

災害による被害を少しでも軽減するためには、日頃からの市民一人ひとりの心がけと、地域ぐるみの防災対策がとても重要です。平成28年には東日本大震災発生から5年をむかえることから、改めて、被災地の現状や、復興に向けて力強く歩みだしている地域での取組を知ることで、川崎市内の地域の防災の充実を目指します。

## 開催日時 / 会場

日時 平成28年1月18日（月）  
午後2時～4時15分

会場 エポックなかはら大ホール  
中原区上小田中6-22-5  
※ JR南武線「武蔵中原」駅直通  
※ 車での来場はご遠慮ください。



## プログラム内容

- 開会挨拶（午後2時）
- 基調講演「災害伝承10年プロジェクト」・・・ 草 貴子  
東日本大震災を被災して以来、日々経験していることや地域での取組について、女性、母親、町内会長それぞれの立場から感じたことを中心にお話いただきます。
- 事例発表「被災地の今を知る」・・・ 皆川 知子  
震災直後から現在に至るまで、被災地での継続したボランティア活動から感じたことについて、被災地の写真を交えながらお話いただきます。また、事例発表に合わせ、会場ロビーで被災地の写真展示も行います。
- 会場と講演者・事例発表者とのトークセッション

## 出演者プロフィール



### 【草 貴子】《基調講演者》

東日本大震災災害伝承語り部。仙台市・市名坂東町内会長。  
東日本大震災を仙台市内で被災。以後、自らが町内会長を務める町内会の集会所に集まった多くの避難者への支援をはじめとして、おもちゃ図書館「ずんだっこ」の開設、市名坂小学校区避難所運営委員会での女性コーディネーター部門の設置など、町内会長、女性、母親など様々な視点に基づく被災者支援を行なっている。  
また平成25年度に開始した消防庁震災語り部ボランティアとして、現在も全国各地で講演を続けている。仙台市泉区在住。

### 【皆川 知子】《事例発表者》

音楽家。昭和音楽大学短期大学部声楽科卒業。  
昭和音楽芸術学院オペラ研究科修了。  
東日本大震災発生後、福島県で音楽ボランティア行って以来、現在に至るまで福島県、宮城県を中心に継続的なボランティア活動を行う。  
また、震災をきっかけに写真を始め、以後、音楽ボランティアと並行して、被災者に寄り添った写真活動を展開している。



ムジックプラッツ音楽教室、ピアノ、ヴォイストレーナー、リトミック講師。川崎市地域子育て支援センターおかがみ、リズムっ子クラブ、リトミック講師。NPO法人ICT教育総合研究所（麻生区役所こども支援室連携）リトミック講師。麻生区在住。



### 【日野 宗門】《コーディネーター》

専門分野は防災図上訓練、自治体の危機管理、地域防災計画、自主防災組織など。  
地域防災活動の企画指導に造詣が深く、平成19年4月から川崎市防災企画専門員として訓練の指導等に携わっているほか、総務省消防庁の「地方公共団体の防災図上訓練実施要領モデルの作成に関する調査研究委員会委員」を務めるなど、広い視点と多角的知見を持つ。京都大学工学部卒業、京都大学大学院工学研究科博士課程修了。気象予報士（No.280）。